



戦死証明書

一、戦死者本籍地

[Redacted]

戸主名 親柄 戸主 父

氏名

[Redacted]

年 月 日生

161-10

二、所属 國 陸軍 師 旅 隊 名

比島 派遣隊 第四七 部隊

三、戦死者 徵集年

昭和九年五月 日

四、戦死年月日時刻及場所

二十八年八月廿九日 北平南門口 南平南門口 前道中

五、戦死 現認ノ程度

骨骸 目撃

六、遺骨 歸還ノ有無

無し

七、戦死當時ノ状況ノ概要

死 撃 撃 後 戦 死 後 概 要

八、死 亡 區 分

戦死 事由 戦死 破片 刺 発 病 年 月 日 昭和 年 月 日

九、其ノ他

（上陸地ニ於テ死亡者ニ限リ申立テ、招魂塔ニ埋葬スル者）申立済ナルト陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戦死者ノ親柄 父

氏名

[Redacted]

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

[Redacted]

戦死者ノ關係

同姓兄弟(五人)

所属部隊名

比島派遣隊

兵種 野戦 兵 官 階級 陸軍 中 佐

氏名

[Redacted]

印

市町村長證明箇所

右相違 昭和二十八年 証明

[Redacted]

戦歿者確認(證明)書

一 死歿者所属部隊名(通稱) 〇〇〇〇〇〇〇〇
一 戦年 〇〇年 〇月 〇日
一 官等(死歿前) 上等兵
(死歿後)

一 氏名 [Redacted] 年 月 日生

一 死歿場所 [Redacted]
一 死亡區分並ニ事由 [Redacted] (備考)

一 死歿年月日時 [Redacted] 年 月 日 時 分

右確認(證明)ス

昭和 〇〇年 〇月 〇日 元所属部隊名 [Redacted] 〇〇〇〇〇〇

現住所 [Redacted]
元官等 [Redacted] 〇〇〇〇〇〇

氏名印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベシクシテニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズベシクシテニ前後

死 先 [Redacted]

地方世話部 関係

現業證明書

一階級氏名

陸軍中佐

一戰死年月日

昭和三年八月六日

一戰死場所

青島公羊木西北約六七。將南之森口部落

附近

一戰死状況

南之森口部落脱出時。戰牛ニ被シ頸部

首通銳創。為即死状況。急テ死シ死體

收容ニ得ズ

一所属部隊名

陸軍第百五十九師團

昭和三年十月十七日

右確証ニシテ證明申上候也

戰時死亡者現認書

昭和二十二年二月



本籍地	所属部隊	兵役	留年組番号	死亡年月日	死亡場所	死亡状況	現認書
[Redacted]	第十六野戦郵便隊	陸軍 陸軍兵長	[Redacted]	昭和二十二年八月六日十三時二十分	フィリピン群島ルソン島タエビスカヤ州ババック	戦死	[Redacted]
[Redacted]	淡(渡)第四〇二部隊	陸軍 陸軍兵長	[Redacted]	昭和二十二年七月十五日	マラリア	病死	[Redacted]

本籍地不明、記入のしるし

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名續柄

戸主

氏名

孫

年 月 日生

二、所屬部隊名

北見派遣地 第二七五部隊

三、戰死者徵集年

昭和九年 十月 日

四、戰死年月日時及場所

昭和十一年 十月 日 北見 北

五、戰死現認ノ程度

死体確認現地ニ埋葬

六、遺骨歸還ノ有無

有

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

夜中ニテ戦死

八、死亡原因

戦死 昭和 年 月 日

九、其ノ他

昭和十一年十月三日 北見 北

遺族ノ現住所

戦死者ノ續柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和十一年 十月 日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

北見 第二七五部隊 兵種 步兵 官等級 陸軍 少佐

氏名

市町村長證明箇所

印

死亡者現職證明書

本居地

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

現住所

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

所属部隊名
官等職氏名
陸軍 大長

一 死亡年月日 昭和二十一年八月十八日

一 死亡場所 南洋軍司令部 司令部 司令部

一 死亡原因 由マラリア 傷寒 傷寒

一 發病年月日及病名 昭和二十一年七月十八日 傷寒

現認者

本籍地

[Redacted]

[Redacted]

所属部隊 陸軍第一七六五部隊

元職官氏名印 陸軍中佐

[Redacted]

[Redacted]

記載上ノ注意 一 死亡事由 何及實通統(符) 刻々受ケ戦死ス或ハ「マラリア」「チブス」
(計 載 例) 一 右半通ノ下ニ戦死、戦傷死、戦病死ヲ右義由ニ依リ該當事項ヲ記入ス

死亡現認證明書

昭和 年 月 日 調製

死		殞		者		現認		事由		記載		注意	
所屬部隊	國行名才ニ野戦飛行場設を隊	頭柄号	威二四〇三	死亡場所	比島呂宋島	死亡年月日	昭和 年 月 日	死亡原因	戦死	受傷箇所	腹部貫通銃創	遺骨	骨
本籍地	[Redacted]	死亡日分	戦死	姓名	[Redacted]	現住所	[Redacted]	本籍地	[Redacted]	所屬部隊	國行名才ニ野戦飛行場設を隊	通柄号	威二四〇三
死前階級	見習士官	受傷箇所	腹部貫通銃創	姓名	[Redacted]	現住所	[Redacted]	本籍地	[Redacted]	所屬部隊	國行名才ニ野戦飛行場設を隊	通柄号	威二四〇三
氏名	[Redacted]	死亡年月日	昭和 年 月 日	姓名	[Redacted]	現住所	[Redacted]	本籍地	[Redacted]	所屬部隊	國行名才ニ野戦飛行場設を隊	通柄号	威二四〇三
遺骨	骨	死亡年月日	昭和 年 月 日	姓名	[Redacted]	現住所	[Redacted]	本籍地	[Redacted]	所屬部隊	國行名才ニ野戦飛行場設を隊	通柄号	威二四〇三

六月初旬以降中隊は他部隊と全と孤立し敵の重圍にあり本人は才ニ小隊長たり
 八月に入ると給人と連日敵の攻撃を受け各小隊毎に分散し密林中に遮蔽しあり
 しも八月七日才ニ小隊長は敵の奇襲を受け腹部に貫通銃創を受け戦死す
 右に死体は附近の大樹(マングローブ)の根元に埋り標石を以て遺骨として
 指を折りおぼしき後より敵襲により附近を焼く掃り水袋失す

一 現認事由は死亡當時、情況を極り
 一 詳細に明記する
 一 階級は必ず死亡前と
 一 確度(命)は正確、ては概ね正確、丙は
 一 疑はしむる()を以て記入する
 一 氏名の下には必ず捺印を以てし
 一 故人との関係は中隊長、分隊長
 一 隊友等の明記を以てし

一 証明者
 一 現住所
 一 本籍地
 一 所屬部隊
 一 通柄号

63-12

現認證明書

地方世話部

<p>昭和二十一年 二月十日</p> <p>右現認證明致します</p>		<p>死者との関係</p> <p>死時状況</p> <p>死者</p>	<p>死亡年月日時</p> <p>昭和二十年 月 日 時 分</p> <p>死亡事由</p>	<p>死亡區分</p> <p>留守住宅所氏名</p> <p>種 役</p> <p>種 兵</p> <p>前死亡階級</p> <p>後死亡階級</p> <p>死亡場所</p> <p>死亡事由</p>	<p>本籍地</p> <p>所屬部隊</p> <p>名 氏</p>
<p>現認者</p> <p>本籍</p> <p>現住所</p> <p>所屬部隊</p> <p>官等氏名</p>		<p>昭和二十年一月廿一日</p> <p>死</p> <p>戦</p> <p>死</p> <p>戦</p> <p>死</p> <p>戦</p> <p>死</p> <p>戦</p>	<p>昭和二十年 月 日 時 分</p> <p>北都ルソン</p> <p>戦</p> <p>死</p> <p>戦</p> <p>死</p> <p>戦</p>	<p>武第...</p> <p>武第...</p> <p>武第...</p> <p>武第...</p> <p>武第...</p> <p>武第...</p> <p>武第...</p>	

昭和二十年一月廿一日

死

戦

死

戦

死

戦

死

戦

死歿者本籍地・留守擔當者籍内氏名	死歿者所属部隊名	徴集年	官等(死歿前)	發病場所	受傷年月日	死歿場所	死亡區分並に事由	死歿年月日時間	遺骨の有無並に送還の方法
[Redacted]	一〇五師團砲兵隊	昭和三十二年	少佐	トト兵	[Redacted]	比島ルソン島 ナガ宿院	戦死(マラリア兼脚気)	昭和三十二年八月七日	なし

右現認ス

昭和三十三年九月三十日

元所属部隊 一〇五師團砲兵隊
資料提供者 現住所 [Redacted]

元官階級 [Redacted]
氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所はなるべく、くはしく、確に確認し、通知、推定の別及終戦後の死亡は明細に生死不明になつた者は其の前後をくはしく、知らせ下さい
宛先 [Redacted] 民生部第一世話課認定係

昭和...

死亡現認證明書

昭和...年...月...日

死者		現認		証明	
氏名	死亡前階級	死亡前階級	死亡場所	死亡年月日	死亡時間
李籍地	兵長	死亡年月日	死亡時間	死亡場所	死亡時間
遺骨遺留品		受傷箇所	頭部	死亡原因	戦死
		疾病年月日		死亡原因	甲
証明者		証明者		証明者	
本籍地		本籍地		本籍地	
階級氏名		階級氏名		階級氏名	
氏名		氏名		氏名	

注意
一 現認の由は当時の情況を詳載し記す
二 本誌の書は三部作製する
三 階級は必ず死亡前を記載する
四 死亡の分戰死の時はお傷箇所を記載する
五 死亡の場所は病名を病年月日と記載する
六 死亡の時は甲概ね確実なることを記す
七 死亡の時は甲概ね確実なることを記す

証明者
氏名、下に必ず捺印する

92-10

戰死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名 額柄 本 庄 主

佐 藤 貞 雄 (推定)

氏名

佐 藤 貞 雄

年

月

日生

5770

二、所属

通商船隊

北 島

派遣

第 三 三 四 部 隊

隊

三、戦死者徵集年

昭和 十 年

役種

和 役

兵種

歩 兵

死亡前官等級

陸 軍 伍 長

年月日

昭和 十 年 五 月 一 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和 十 年 五 月 一 日

三 時 三 十 分

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

五、戦死現認ノ程度

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

全 隊 長 之 出 動 已 一 次 野 隊 者 下 之

六、遺骨歸還ノ有無

付 之

付 之

付 之

付 之

付 之

付 之

付 之

付 之

付 之

七、戦死當時ノ状況ノ概要

昭和 十 年 五 月 一 日 三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

三 島 沖

八、死亡区分

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

戦 死

九、其ノ他

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

戦 死 時 之 状 況

二、遺族ノ現住所

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

戦 死 者 下 ノ 額 柄

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 十 年 五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

五 月 一 日

證明者住所

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

戦死者ノ關係

同 人 務

同 人 務

同 人 務

同 人 務

同 人 務

同 人 務

同 人 務

同 人 務

所属部隊名

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

第 三 三 四 部 隊

兵種

歩 兵

歩 兵

歩 兵

歩 兵

歩 兵

歩 兵

歩 兵

歩 兵

氏名

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

直町村長證明箇所

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

佐 藤 貞 雄

印

死後遺言

本籍地

現住所

所属部隊

入員年月

算級

内地臺灣支隊

外洋支隊

初任階級

支隊又ハ支隊

不明

不明

(不詳當時住所)

比島孤遺 援兵團 (百師團) 所屬 部隊 (工兵聯隊)

昭和二十年五月十日 陸軍二等兵

不明 内地臺灣支隊 不明

昭和十七年十月十七日 兵種 兵種 不明

不明 内地臺灣支隊 不明

昭和十七年十月十七日 兵種 兵種 不明

不明 (當時は米軍上陸部隊(戦中中))

不明 (同上)

悪性(野戦)マラリア病並に極度衰弱を呈し、戦場にて死亡したと推定する。

不明

不明

不明

不明

不明

右の通り記入してありますから申す致します

死亡年月日	昭和二十二年一月二十一日	死亡場所	三浦市本郷地区	死亡区分	自殺死
死亡時の状況	悪性マラリア病並に極度の衰弱を来し、調音病に罹患し、道路を歩行中、				
右の通り承知してゐますから申上致しします	昭和二十二年一月二十一日				
中入	等	氏名	[Redacted]		
本籍地	[Redacted]				
現住所	[Redacted]				
前住所	[Redacted]				

一、申請書ハ「死歿者の身上関係一切を處理する事」であるから慎重に
 且詳細に記入して下さい
 二、他人から聞いて承知した事項ハ其の旨末尾餘白に記入して下さい

24179

現認証明書

以島紙邊

部隊

陸軍航空通信科

陸軍軍曹

右者 昭和五年八月八日... 陸軍航空通信科... 陸軍軍曹... 現認証明書... 陸軍航空通信科... 陸軍軍曹...

現生所
陸軍軍曹

[Redacted signature area]

<p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p>	<p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p>	<p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p>	<p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p>	<p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p> <p>昭和三十二年一月</p>
---	---	---	---	---

昭和三十二年一月五日此島ハソノ島ノイサバラ州ノ口ネスレニ於テ首
 陽大ニ備レリタレニ病没ノ教備ナク看護ニソトメタルニ味ニ全
 月八日同地ニ於テ死セリ

此洲
 昭和三十二年一月五日此島ハソノ島ノイサバラ州ノ口ネスレニ於テ首
 陽大ニ備レリタレニ病没ノ教備ナク看護ニソトメタルニ味ニ全
 月八日同地ニ於テ死セリ

本管
 昭和三十二年一月五日此島ハソノ島ノイサバラ州ノ口ネスレニ於テ首
 陽大ニ備レリタレニ病没ノ教備ナク看護ニソトメタルニ味ニ全
 月八日同地ニ於テ死セリ

死亡證明書

本籍地		[Redacted]	
所屬部隊固有名		通稱	
徵集年 (任官年)	役	種	兵
昭和十九年三月	水二國	通稱	兵
留 守		所 部	
擔當者		[Redacted]	
綴納氏名		父 [Redacted]	
死亡年 月 日	死亡場所	死亡原因	死亡場所
昭和十九年三月六日	南洋群島	疾病	南洋群島
傷病死	病名	始末	不詳
死亡階級	要否	階級	兵
兵	要	兵	兵
況 狀 死 亡 (以下に詳細な死因と経過を記載)			

右の通り相違なきことを証明する。

昭和十九年三月廿一日

本籍地 [Redacted]

(現住所) 市 会

本所屬部隊 比島派遣 第一〇六三部隊

階級氏名印 歩兵中隊長 [Redacted]

5-10

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱) 桂一五〇 (陸軍第五七旅団)

一、徵集年 昭一〇 役種 兵 兵種 山砲兵

一、官等(死歿前) 大長 (死歿後)

一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

一、死歿場所 [Redacted] 州 [Redacted] 地方 [Redacted]

一、死亡区分並ニ事由 横銃殺死ニシテ 胸部を貫通 斃命ス

一、死歿年月日時間 昭和二〇年八月八日 午前八時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年七月十九日

元所属部隊名 満洲軍 砲兵連隊 砲兵中隊 砲兵班

現住所 [Redacted]

元官等級 大長

氏名印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ

宛先 [Redacted]

陸軍省 陸軍部 兵務課 兵務課長 印

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(近衛師) 成軍一〇九〇部隊

二、徵集年 昭和三十二年 後編 第四〇八次 兵種 騎兵

三、官階(死歿前) 中尉 (死歿後) 少長

一、氏名 [Redacted] 年 月 日生

二、死歿場所 [Redacted]

三、死亡区分(事由) 戦死

四、死歿年月日時(間) 昭和三十二年 月 日

五、死歿者本籍地留寸附置者

右確認(證明)ス

昭和三十三年 月 日 元所属部隊名 成軍第九六〇部隊

現住所 [Redacted]

元官階級 陸軍中尉

氏名印 [Redacted]

死亡理由(場所) [Redacted] 終戦後死亡(時期) 生死不明ニナリタ者ハソノ前後

死亡年月日時(間) [Redacted]

[Redacted]

地方世話部關係

昭和二十三年 月 日 第 号 民生部第二部第五課

死亡者調査表

昭和二十三年 六月 十四日 四時

整理番号	所属部隊	個人名	死亡場所	死亡原因	死亡年月日	備考
	南支那方面軍	南支那方面軍	南支那方面軍	戦死	昭和二十三年六月十四日	父
	南支那方面軍	南支那方面軍	南支那方面軍	戦死	昭和二十三年六月十四日	父

公未

◎◎◎ 本表は戦時中の死亡者の第一世階級に於いて記入することを旨とし、戦時中の死亡者及び戦後死亡者の死亡届を以て記入するものとする。戦時中の死亡者は戦時中の死亡届を以て記入するものとする。戦後死亡者は戦後死亡届を以て記入するものとする。戦時中の死亡届は戦時中の死亡届を以て記入するものとする。戦後死亡届は戦後死亡届を以て記入するものとする。

未届届届	無 (有)
遺骨受付番号	第 九 四 号
公報番号	第 九 四 号

軍曹証書

所属部隊 第一三三兵衛隊

年 現役 十四年

現役 衛生兵 松長

昭和二十年八月

北原

傷病名

戦病死

証人

経緯

右證明す

昭和二十年五月二日

所在所

所属部隊 第一九七隊



昭和二十年八月... 北原... 傷病名... 戦病死... 証人... 経緯... 右證明す... 昭和二十年五月二日... 所在所... 所属部隊 第一九七隊... 衛生兵 松長... 昭和二十年八月... 北原... 傷病名... 戦病死... 証人... 経緯... 右證明す... 昭和二十年五月二日... 所在所... 所属部隊 第一九七隊... 衛生兵 松長...